

企画展

ふくいのはなし

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 令和5年9月7日(木)
～令和5年10月15日(日)

「伝説」とは、特定の人物や事柄を対象に、特定の時代・場所において起きたと信じられ、いつの頃からか、その地域で語り伝えられるようになった伝聞や風聞のことで、時代や場所などが特定されていない「昔話」とは異なります。伝説は歴史や自然、信仰などにまつわる内容が多く、「英雄伝説」「聖者伝説」、地名などの「由来伝説」など、全国各地にさまざまな伝説が数多く残されています。

この企画展では、継体天皇・新田義貞・柴田勝家・松平忠直・真田信繁（幸村）など、ふくいの歴史に関わる人物の伝説を中心に、福井城や城下町にまつわる奇異な言い伝えなども紹介し、人物や福井城下に関する資料を展示します。

福井の歴史に関わる人物と福井城下にまつわる伝説

1 継体天皇の治水伝説

継体天皇（乎富等大公王・袁本杼命・男大迹天皇）は『古事記』と『日本書紀』において26代目の天皇（大王）とされる人物です。継体天皇にまつわる伝説は数多く伝わりますが、治水に関するものが圧倒的多数を占めます。本展では、継体天皇が水を治めて九頭竜・日野・足羽という三つの大川を開いたという伝説や、その際に役夫が暑さに水を乞うたので、継体天皇が弓箭で巖を突くと即時に冷水を得たという伝説をご紹介します。

2 新田義貞と新田塚

新田義貞は鎌倉時代末期から南北朝時代に活躍した武将です。後醍醐天皇に味方する有力武将でしたが、越前国の燈明寺畷で戦死しました（藤島の戦い）。江戸時代、義貞戦没地付近と考えられる場所から古い兜が発見されたといわれています。この兜は義貞着用のもので鑑定され、4代福井藩主松平光通により出土地とされる場所に石碑が建立されました。以後この場所は「新田塚」と呼ばれて義貞の戦没地とされ、明治期には義貞を祀る藤島神社創祀の源泉となり、大正13年（1924）には「燈明寺畷新田義貞戦没伝説地」の名称で国指定史跡となりました。

3 柴田勝家の亡霊伝説

柴田勝家は戦国時代から安土桃山時代に活躍した武将です。織田信長の重臣として北庄城と城下町を築き、北陸方面軍の総大将を務めました。しかし、賤ヶ岳の戦いで羽柴（豊臣）秀吉に敗れ、北庄城の天守で自害しました。江戸時代の福井城内にはこの天守跡と伝承される場所があり、奇怪なことがあったため、勝家の霊魂を祀る祠を建てて毎年お祭りをしてきたとされます。この祠は勝家を祀る柴田神社の前身となりました。また、毎年勝家が戦死した日には九十九橋・毛矢のあたりを勝家が馬に乗り馳駆するため、誰もが戸を閉めて夜出歩かなかったという話も伝わります。



柴田勝家像（「国史画帖大和桜」） 当館蔵

4 松平忠直と茶壺「初花」

松平忠直は2代福井藩主で、福井藩祖結城秀康の嫡男として誕生しました。豊臣家が滅亡した慶長20年（1615）の大坂夏の陣では、越前兵を率いて大坂城に一番乗りをするなど軍功をあげ、祖父家康から恩賞として「初花」の茶入と共に、「初花」の茶壺を賜りました。明治期になり元福井藩主の松平春嶽が茶壺の袋に、壺に補修の跡があるのは、この恩賞だけでは奮闘した家臣の功績に報いることは出来ないと、忠直が投げ捨てて破損したためであると書いており、茶壺にまつわる伝説を伝えています。



茶壺「初花」
越葵文庫 当館保管

5 真田信繁（幸村）と真田地蔵

真田信繁は安土桃山時代から江戸時代初期に活躍した武将で、信濃上田城主真田昌幸の次男として誕生しました。慶長19年（1614）の大坂冬の陣では豊臣方の武将として活躍し、翌年の夏の陣では福井藩主松平忠直が率いる越前勢と激戦となり、忠直の家臣西尾仁左衛門（宗次）によって討ち取られました。信繁は「日本一の兵」と讃えられた英雄で、西尾は福井（北庄）へ戻り、信繁の御霊を鎮めるため、孝顕寺境内に「真田地蔵」を安置しました。いつの頃からか地蔵尊の首が落ち、これを元通りにしようとする者は、熱病に悩まされたという伝説があります。

6 福井城下にまつわる奇異な伝説

結城秀康を藩祖として始まる福井藩、その拠点となった福井城と城下町には、世にも奇妙な話、怪異な話が人々の間で語られていたようで、その一部は近世・近代の資料の中に散見されると共に、戦後の福井県内の伝説調査によって採録されたものもあります。

今回の展示では、福井城の御座所の庭に置かれた「獅子岩」と呼ばれた石が歩いたという話、御座所の隅櫓の堀に浮かび上がった伝説の大亀を春嶽が目撃した話、上級藩士の屋敷近くの小路に女性の幽霊が出るという不思議な話を紹介します。

展示目録

No.	資料名	点数	所蔵
福井の歴史に関わる人物と福井城下にまつわる伝説			
1 継体天皇の治水伝説			
1	足羽社記略	1冊	当館蔵
2	足羽神社記（写本）	1冊	当館蔵
3	継体天皇石像建立趣意書	1枚	当館蔵
4	土生彰撰「九頭龍川修治碑」碑文の幅	1幅	当館蔵
2 新田義貞と新田塚			
5	新田義貞肖像画	1幅	藤島神社蔵 当館保管
6	鉄製銀象嵌兜鉢（伝新田義貞所用・複製）	1頭	当館蔵
7	太平記（木版本）	1冊	当館蔵
8	越前国名蹟考（写本）	1冊	藤島神社蔵 当館保管
3 柴田勝家の亡霊伝説			
9	柴田勝家像（「国史画帖大和桜」）	1枚	当館蔵
10	越藩拾遺録 天地ノ巻	1冊	当館蔵
11	福井城旧景（百間濠及福井城東面）	1点	当館蔵
12	福井城旧景（九十九橋）	1点	当館蔵
4 松平忠直と茶壺「初花」			
13	茶壺「初花」	1口	越葵文庫 当館保管
14	越藩史略 三	1冊	当館蔵
5 真田信繁（幸村）と真田地蔵			
15	「真田地蔵」（石造地蔵菩薩立像）	1軀	当館蔵
16	薙刀 無銘 伝真田幸村所用	1口	越葵文庫 当館保管
17	越藩諸土元祖由緒書 全	1冊	当館蔵
18	大坂夏の陣図屏風（右隻・複製）	1隻	当館蔵
6 福井城下にまつわる奇異な伝説			
○御座所の獅子岩			
19	真雪草紙	1冊	福井市春嶽公記念文庫
20	福井城旧景（御座所玄関）	1点	当館蔵
○隅櫓の怪物（大亀）			
21	福井城郭各御門其他見取絵	1巻	越葵文庫 当館保管
○おなべ小路			
22	福井城旧景（柳御門内より御隅櫓）	1点	当館蔵
23	寛政年間之地図	1枚	当館蔵

次回の展示

松平家史料展示室 企画展「福井城から福井市へ」

令和5年10月19日（木）～12月3日（日）

展示解説シート No.162

令和5年9月7日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 印牧 信明、中西 健太

印刷 備宮本印刷